

# ともだち



人と人との出会いを大切に  
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい とう  
高崎市国際交流協会会報第117号

2024.8

## ◆トピックス(2024年<sup>ねん</sup>6月～7月)

### ■第8回国際親子交流会

6月29日、中央公民館で第8回国際親子交流会が開催されました。ブラジル、フィリピン、中国、スリランカにつながるの家族と日本人家族、計10家族28人が参加し、七夕祭り、ゴミ分別ゲーム、パン食い競争、子育てクイズなどで大いに盛り上がりました。親子を対象とした交流会は平成28年から行われており、ママ友、パパ友を作りたい、親子で参加できるイベントはないかといった問い合わせも増えているため、今年も開催されました。  
(事業部会)



### ■多文化サロン～イタリア～

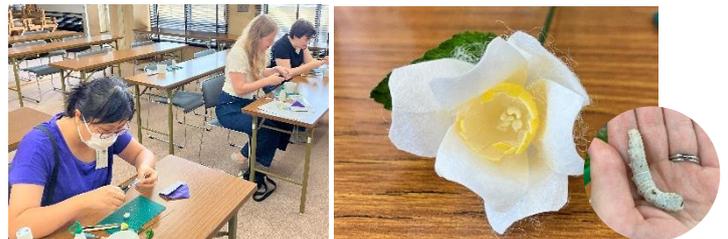
7月13日、中央公民館で多文化サロンが開催され、26人が参加しました。イタリア出身のマッテオ・フィオラモンティさんが、イタリアの文化(お祭り、食べ物、コーヒー文化等)や日常生活のことを紹介し、お菓子と飲み物がふるまわれました。参加者からは、イタリアの教育制度、よく使うジェスチャー、イタリア旅行で気を付けること等たくさんの質問が出され、「自分の知らないイタリアの文化が知れて良かった」「もっと聞きたかった」という声が寄せられました。  
(都市友好部会)



### ■COOL TAKASAKI発信事業

#### ～繭クラフト体験～

7月13日、日本絹の里で行われた繭クラフト体験に外国人3人が参加しました。参加者はボランティアガイドの説明を受けながら特別展「学ぼうカイコ～世界遺産登録10周年記念～」を見学し、生きた蚕に触れたりシルク作りについて学んだりした後、繭クラフト体験を行いツバキの花を作りました。参加者からは「蚕が意外と可愛かった」「繭で色々なクラフトをしてみたい」などの感想がありました。  
(事務局)



### ■春の日本語教室

5月7日から7月22日まで春の日本語教室が開催され、46人の支援者が90人の学習者の学びを手伝えました。学習者は支援者の助けを得ながらそれぞれの目標に向けて意欲的に学習に取り組みました。  
(コミュニケーション支援部会)



#### ■国籍別学習者人数(延べ人数)

中国	21	バングラデシュ	3	トルコ	1
フィリピン	14	日本	2	パキスタン	1
ベトナム	8	ギニア	2	ルーマニア	1
アメリカ	5	ネパール	2	ミャンマー	1
インドネシア	5	マレーシア	2	ペルー	1
スリランカ	4	モロッコ	2	スペイン	1
カメルーン	3	韓国	2	インド	1
タイ	3	台湾	1	メキシコ	1
カナダ	3	合計25ヶ国90人(対面78人、オンライン12人)			

# ◆おしらせ(2024年9月～10月)

## ■秋の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループかマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。

●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円※オンラインは無料 ●申込=8月1日(木曜日)から8月20日(火曜日)までに協会ホームページから(応募者多数の場合は、お断りすることもあります)

教室名	コース名	時間	期間
中央公民館	火曜日	午前10時～11時30分	9月10日～11月12日
	木曜日	午後7時～8時30分	9月12日～11月21日
	土曜日	午後1時30分～3時	9月14日～11月16日
下中居公民館	水曜日	午後6時30分～8時	9月4日～11月6日
群馬福祉会館	月曜日	午後7時～8時30分	9月2日～12月2日
新町文化ホール	水曜日	午前10時～11時30分	9月4日～11月6日
	土曜日	午前10時～11時30分	9月7日～11月23日
オンライン	曜日・時間は相談してください。1回40分です。		

## ■日本語ボランティア募集

多くの人に地域でボランティア活動を始められるよう、日本語指導法の基礎を学べる講座を開催します。

●対象=18歳以上の人で、事前研修と教室見学に参加できる人(日本語学習支援経験や外国語能力は問わない) ●定員=25人(選考) ●費用=1,000円(ボランティア登録時には当協会への入会が必要。別途、年会費2,000円) ●申込=8月16日(金曜日)までに協会ホームページから(応募者多数の場合は選考)

【事前研修】 ●日時=①9月13日(金曜日)、②11月15日(金曜日)、計2回 午前10時～午後4時 ●場所=中央公民館(末広町)

【教室見学】秋の日本語教室(9月～11月)を2回程度見学してレポートを書く ●見学場所=中央公民館、下中居公民館、群馬福祉会館、新町文化ホール(詳しい日程については事務局へお問い合わせください)



## ■第32回国際交流の集い開催決定

### ～運営ボランティア募集～

●日時=10月13日(日曜日) 午前11時～午後3時 ●場所=ビエント高崎(間屋町) ●内容=文化体験ブースやステージ補助、会場整理などです ●申込=9月6日(金曜日)までにメールで事務局へ

**国際交流の集い**

**インターナショナルバザー用品募集**

【募集内容】 海外の雑貨や衣料品：アクセサリ、ピンバッチ、ポストカード、置物、カトラリー、Tシャツ、帽子、スカーフなど **和小物**：扇子、箸置き、巾着、手ぬぐい、風呂敷など

※未使用の物をお願いします。※食品(酒類を含む)、化粧品、サイズの大きいもの、古着、本、硬貨は受付不可

【受付方法】 9月30日(月曜日)～10月9日(水曜日)の間に国際交流コーナーへ持参もしくは郵送してください。

※郵送の場合は事前連絡の上、送料の負担をお願いします。※品物は全て無償の提供とし、品名と国名をお知らせください。

■売上金の寄付先は検討中です。昨年は「プランインターナショナル」と「SMILE BY WATER」に寄付しました





僕のの仕事は、中学校で Assistant Language Teacher です。この仕事では、生徒に英語を教えながら外国の文化や人々について教えています。最近、ある生徒が学校の合唱コンクールでクラスの伴奏中、緊張して弾けなくなるという問題がありました。その生徒に、「先生、外国の人って、緊張しますか？」と聞かれました。「うん、当然するよ」と答えたけど、その生徒がなぜ外国人は緊張しないと思っていたのかと考えると、イメージという言葉が思い浮かびました。

日本人にとって、外国人、特にアメリカ人は元気、陽キャというイメージがありますね。そういう人にとって、大勢の前でピアノを弾くことは余裕でしょうね。でも、あるアンケートによって、一般のアメリカ人にとって、大勢の前で発表、パフォーマンスすることは一番怖いと感じている人が多いようです。自分の死はなんと二番目でした。ちなみに、僕も発表、特に自分の母国語以外のは結構怖いと思います。

僕にとっても、日本人はシャイ、控えめというイメージがありました。でも、ここに引越した時、職場で最初の一週間の間に、一人の同僚が声をかけてくれ、その次の金曜日に飲みに行こうと誘ってくれました。



この二つの話から伝えたいのは、外国人と日本人は一緒です。特別外国人が違うことはありません。人にイメージがあったら、多分そのような人はいるけど、そうじゃない人もたくさんいる、いわゆる僕の好きな四字熟語、十人十色ということです。僕の生徒にも、ここにいるみんなにも、改めてこういうことを覚えてほしいです。

ちなみに、困っていた伴奏の生徒はそのあと緊張を乗り越えて、クラスのみならず優勝しました。

(2023年国際交流の集い日本語スピーチ大会より)

キーファーさんの  
コメント



初めまして、キーファーです。2年半ぐらい日本に住んで、富岡市で ALT 英語の先生をやっています。日本語の中で一番苦手だと思っているスピーキングをスキルアップするために大会に挑戦してみました。どうやって観客に分かりやすく自分の考えや気持ちを伝えるかを考えながらスピーチを書いて練習するのは結構難しかったけど楽しかったです。スピーチ大会を経験して、少しスピーキングに自信がついたと思います。

～広報宣伝部会メンバーが読んで質問しました～

**Q1.日本語はいつから勉強していますか？**

A. 2016年、大学1年生の時からです。

**Q2.日本に興味を持ったきっかけは？なぜ日本に来てALTになろうと思ったのですか？**

A. 小さいころから日本のアニメ、ゲーム、小説が好きで、大学で日本語の勉強を始めました。日本人の留学生と友達になり、日本に行ってみたいな一とずっと思っていました。2019年に1か月神戸で留学した後、やっぱり日本に住んでみたいと気づきました。

大体同じとき、フルブライトプログラム参加者の日本人が大学で日本語の授業を教えていました。すごく尊敬しているその人が僕に「日本で英語を教えてみたらどう？」と言ってくれたのが ALT になろうと思ったきっかけです。

**Q3.日本人はシャイ、控えめというイメージがあったとありますが、日本に来る前に抱いていた日本人のイメージと、実際は違っていたイメージは他に何かありますか？**

A. スピーチの通り、一人一人のレベルで日本人はみんなシャイじゃないと気づきましたが、社会的には日本はほぼイメージと同じですね。日本人は、電車では静かにして携帯で話さない、電車やお店を待って並ぶときは整然として、カスタマーサービスはすごく丁寧、公共の場からごみを持ち帰るなどが大体あっていかなと思います。

**Q4.日本の中学生は、アメリカの中学生やご自身の中学時代とくらべてどうですか？**

A. アメリカの生徒より、日本の中学生は学校生活で活躍していると思います。自分たちで学校を掃除する、いろいろな委員会の仕事をする、体育祭の種目の企画や準備をする、話し合いでクラスの目標を決める、などで、誰でも小さなことでも学校生活の何かをしています。アメリカではそういう「学校のみならず協力しよう」ということはあまりなくて日本が素敵だと思います。

とはいえ、時々騒がしすぎることやエッチなジョークが好きすぎるなど、日本でも中学生は中学生だなと思います。

**Q5.キーファーさんには緊張を解くおすすめ方法がありますか？**

A. 僕が思うのは、パフォーマンス、スピーチ、発表、面接などの緊張は大体「失敗したらどうするの？」という気持ちから出てきますので、前にひたすら「準備をすること」がおすすめです。当たり前のことだけど、たくさん練習して、そして自分がよくできていることを想像する(イメージトレーニング)ことがいいと思います。たくさん準備をしても100パーセント緊張がなくなるわけじゃないけど、少し緊張をして「大丈夫、練習通りで行こう」と思いながら乗り越えられると思います。とにかく僕はそうしています。

